

# 介護と人生

仕事・子育てと  
どう両立させる？

34

日本エルダーライフ協会 代表理事  
ケアライフアドバイザー

柴本美佐代

## 金銭の管理

高齢者を介護する上でトラブルが起きやすいのが、金銭管理です。日常の必需品の買い物、高額商品やサービスの購入や契約など金銭の問題は多岐にわたります。記憶障害がある軽度認知症では、同じ物を繰り返し買ってきたり、必要のない物を購入してしまったりする問題も起きます。

高額な商品は、  
できるだけ一緒に買い物に

一緒に見てからね

〇〇が  
欲しいの



別居の介護家族の場合、それまで別々の家計だったものをいきなり管理することとは本人も家族も抵抗があり、成年後見などは認知症が進んでからになるでしょう。最近では高齢者を狙って展示会に誘い、最初は無料の景品を配って、その後商品を購入させるような商法もあり、不要な商品の購入に悩む家族が増えていきます。

本人が同意して購入しているので違法ではない上、クーリングオフも利用できないことが多く、判断能力が落ちている人は多額の商品の購入で生活費まで無くなってしまうこともあります。健康・お金・孤独といった高齢者の不安につけこむ商法で、だまされても責められると思い、家族に被

## 相談相手になり不安なくす

害を隠すこともあります。家族にできることは、高齢者の不安を少なくし相談相手になることです。特に関心がある物は家族が代わりに買うようにすれば、家族を通じて購入する習慣ができます。お金を使うことは自立した生活の基本ですから、やめさせることは望ましくありません。日常の買物の無駄はある程度仕方ないと考えましょう。

同じ物を同じ店で買ってくる場合は、あらかじめお店に軽度認知症であること伝えて返品できるようにするなどの対策も。仲良くしている友人がいれば、できるだけ一緒に買い物に行ってもらうようにお願いするのも良いでしょう。訪問販売、電話勧誘などで購入したものはクーリングオフができる場合が多いので、早く情報をつかむことで、日頃から電話でも買い物について話題にして、気軽に相談できれば被害も少なくて済むでしょう。